

外国人から見た行方市

行方市に住む外国人は、976人（平成26年10月1日現在）で、市民全体の2.6%となっています。これまで行方市を支えてきた第1次産業が、人口減少などの理由により、日本人のみで産業の安定化を図ることは、厳しい状況にあります。また、急速に進んでいく高齢化により、介護サービス分野でも外国人労働者を受け入れる傾向にあり、今後も外国人は増加していくものと思われます。

そのような中、文化の違いから近隣トラブルが生じたり、「外国人である」という理由だけで地域に溶け込めないケースもあるようです。

今回は、市内の自主サークル「なめがた日本語クラブ」で、日本語や日本文化を学んでいる外国人の方々に集まっていただき、「外国人から見た行方市」という観点でお話を伺いました。



なめがた日本語クラブの皆さん

Q 行方市の第一印象は？

初めて来たときは田舎という印象を受けましたが、市民の方には、いつも笑顔で親切に接していただいています。

Q 文化やマナーの違いを感じたことは？

犬の散歩を見て驚きました。母国では見たことがありません（タイ・スリランカ）。

日本の結婚式は、親族を除いて家族の中で1人しか呼ばれませんが、母国では、複数で出席します。何人出席してもご祝儀の額は1人分です（スリランカ）。

日本の温泉施設は、多くの方が一緒に浴槽に入りますが、母国で



パンワディさん
（タイ王国出身）



アリさん
（スリランカ民主社会主義共和国出身）



サンタさん
（スリランカ民主社会主義共和国出身）



蔡（サイ）さん
（中華人民共和国出身）



チャミンダさん
（スリランカ民主社会主義共和国出身）



ローハナさん
（スリランカ民主社会主義共和国出身）

※氏名は通称名で表記

はシャワーです。最初のうちは入ることができませんでした（中国・タイ・スリランカ）。

食堂に出かけたとき、日本では割り勘という習慣がありますが、母国では、食事を誘った人や金銭的に余裕がある人がまとめて払っています（スリランカ）。また、飲食店に入ると、日本と同様、水が出されますが、何も注文しなくても構いません（スリランカ）。日本ではおそばをすすりながら食べますが、母国では音を立てて食べることはほとんどありません（スリランカ・中国）。

Q生活していて不安なところは？

地震や大雨、大雪など、自然災害が多く、不安を感じています。母国では地震はほとんど起こりません（スリランカ）。市内の避難場所もわかりません。

Q行方市の理想像は？

行方市は、公園が少ないように感じています。みんなが触れ合えるような場所を確保してほしいと思います。閉校となった学校は活用できないのでしょうか。また、市民と交流する場所や機会を作っていたきたいと思います。さらには、行方産の野菜はとてもおいしいので、市民限定で安く野菜が買えるお店などがあるとよいです。

20年以上行方市にお住まいの 外国人のご家族に、 行方市について伺いました



真喜屋 イノウエマヌエルイサムさんご家族
（ペルー共和国出身）・1991 年来日

行方市は、とても静かなところだと思います。市民の皆さんにも親切にしています。来日した当初は、日本語が分からず、知り合いもいなかった。その不安な日々を過ごしていました。その当時は車の免許を持っていなかった。移動手段は自転車に頼らざるを得ませんでした。しかし、市内に日本語教室があるのを知って、入会し、他の外国人と交流を深め、一緒に日本語を学ぶことができたので、現在は、日本人の話すことばを理解することができるようになりました。

日本に来てびっくりしたことは、夏はとても暑く、逆に冬はとても寒いことです。ペルーは1年を通じて気候が変わらないので、日本の四季に適応するのに苦労しました。

これからも行方市に住み続けますので、どうぞよろしく願います。市民の皆さま、是非、ペルーに越えたいだき、ナスカの地上絵やマチュピチュなどの世界遺産をご覧ください。

今回インタビューした外国人は、職場やPTA、地域に支える人があるからこそ、日常生活にあまり不自由を感じていないようです。近年、外国人だけの世帯も増えつつあります。

日本人が海外に行つて好印象を抱いた人や場所は、インターネットなどにより、情報共有されています。それは外国人にとっても同じではないでしょうか。今回のように、「行方市の人が温かい、行方市はいいところだ」という印象を抱いて帰国した場合、母国に帰つてもその情報は共有されることでしょう。

市としても、市民の皆さまに外国人への理解を深めていただくため、交流事業を行つていきたいと思ひます。

行方市国際交流協会会員募集

行方市国際交流協会では、外国文化への理解と市内在住外国人へのサポートを充実させ、協会及び事業の活性化を図るため、新規会員を募集しております。

国際交流に興味がある方、海外在住経験がある方、外国人サポートをしてみたい方など、さまざまな方のお問い合わせ・お申し込みをお待ちしております。

皆さまの「行方流おもてなし」を一緒に実践してみませんか。

平成26年度予定事業

- ・ 国際交流サロンの設置
- ・ 留学生等のワンナイトステイ受け入れ
- ・ 行方ふれあいまつりへの出店（ミニ英会話ゲームや異文化体験など）

問 企画政策課（麻生庁舎）

☎ 0299・72・0811



Namegata International Association